

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」は、地域産業の活性化や競争力の強化が図られるよう、県内農林水産業や工業の技術的課題の解決や産業技術の高度化に向けた研究開発を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 12 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 22.4%、低認知度群は 77.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（27.3%）が女性（17.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（32.3%）が 65 歳未満（19.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（27.7%）では、回答者全体と比較して 5.3 ポイント高い。

石巻圏域（15.2%）では、回答者全体と比較して 7.2 ポイント低い。

(%)

政策 12 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.7	20.7	22.4	56.1	21.5	77.6	100.0

性別	男性	2.9	24.4	27.3	53.9	18.8	72.7	100.0
	女性	0.7	17.0	17.7	58.2	24.1	82.3	100.0
年齢別	65 歳未満	1.4	17.6	19.0	57.2	23.8	81.0	100.0
	65 歳以上	3.0	29.3	32.3	52.7	15.0	67.7	100.0

圏域別	仙台	1.0	17.7	18.7	56.5	24.9	81.4	100.0
	仙南	1.3	17.9	19.2	56.4	24.4	80.8	100.0
	大崎	1.7	25.5	27.2	55.0	17.7	72.7	100.0
	栗原	3.1	24.6	27.7	51.2	21.1	72.3	100.0
	登米	2.4	24.1	26.5	53.8	19.8	73.6	100.0
	石巻	2.2	13.0	15.2	60.9	23.9	84.8	100.0
	気山沼・本吉	0.8	19.9	20.7	59.8	19.5	79.3	100.0

有効回答者数 1,611 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 28.8%、低認知度群は 71.2%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較すると、登米圏域（63.7%）が 34.9 ポイント、気仙沼・本吉圏域（50.0%）が 21.2 ポイント高い。

仙台圏域（20.0%）が、回答者全体と比べると 8.8 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 50.7%、低認知度群は 49.3%である。

(%)

政策 12 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.0	25.8	28.8	58.8	12.4	71.2	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	23.3	25.0	59.5	15.5	75.0	100.0
	仙南	3.6	16.4	20.0	61.8	18.2	80.0	100.0
	大崎	2.6	23.1	25.7	60.3	14.1	74.4	100.0
	栗原	0.0	28.6	28.6	71.4	0.0	71.4	100.0
	登米	18.2	45.5	63.7	36.4	0.0	36.4	100.0
	石巻	10.0	20.0	30.0	60.0	10.0	70.0	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	10.4	40.3	50.7	47.8	1.5	49.3	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 12 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 56.4%、低関心度群は 43.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（63.9%）が女性（49.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（67.4%）が 65 歳未満（52.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（62.1%）では、回答者全体と比較して 5.7 ポイント高い。

石巻圏域（48.1%）では、回答者全体と比較して 8.3 ポイント低い。

(%)

政策 12 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	14.6	41.8	56.4	36.1	7.5	43.6	100.0

性別	男性	18.1	45.8	63.9	30.3	5.8	36.1	100.0
	女性	11.5	37.5	49.0	42.0	9.0	51.0	100.0
年齢別	65 歳未満	11.4	40.8	52.2	39.6	8.3	47.9	100.0
	65 歳以上	23.8	43.6	67.4	27.3	5.4	32.7	100.0

圏域別	仙台	14.0	39.7	53.7	38.8	7.5	46.3	100.0
	仙南	14.3	38.4	52.7	37.1	10.1	47.2	100.0
	大崎	18.3	39.1	57.4	37.8	4.8	42.6	100.0
	栗原	16.9	45.2	62.1	31.0	6.9	37.9	100.0
	登米	13.0	45.8	58.8	34.3	6.9	41.2	100.0
	石巻	9.7	38.4	48.1	43.8	8.1	51.9	100.0
	気山沼・本吉	14.7	42.9	57.6	35.5	6.9	42.4	100.0

有効回答者数 1,633 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 55.5%、低関心度群は 44.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(85.7%)では 30.2 ポイント、登米圏域(83.3%)では 27.8 ポイント、気仙沼・本吉圏域(68.4%)では 12.9 ポイント、大崎圏域(65.4%)では 9.9 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域(44.4%)では 11.1 ポイント、仙南圏域(47.3%)では 8.2 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 89.7%、低関心度群は 10.3%である。

(%)

政策 12 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	12.6	42.9	55.5	38.7	5.7	44.4	100.0	
圏 域 別	仙台	12.8	31.6	44.4	51.3	4.3	55.6	100.0
	仙南	9.1	38.2	47.3	45.5	7.3	52.8	100.0
	大崎	9.0	56.4	65.4	25.6	9.0	34.6	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	58.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	14.3	42.9	57.2	28.6	14.3	42.9	100.0
	気仙沼・本吉	18.4	50.0	68.4	31.6	0.0	31.6	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	36.8	52.9	89.7	10.3	0.0	10.3	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

3. 政策 12 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.3%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 32.4%と推定できる。

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	23.4	(76.6)
満足度 60点未満の割合		60.7
要検討領域にある回答者全体の割合		37.3

有効回答者数；重視度 1,613人、満足度 1,597人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	1613	1597
	欠損値	108	124
平均値		68.25	50.45
平均値の標準誤差		.438	.430
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.589	17.177
分散		309.380	295.066
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.4	(83.6)
満足度 60点未満の割合		52.6
要検討領域にある回答者全体の割合		36.2

有効回答者数；重視度 336人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	336	331
	欠損値	2	7
平均値		68.63	53.67
平均値の標準誤差		.868	.822
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	60
標準偏差		15.917	14.956
分散		253.344	223.682
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	66.3	50.0	16.3
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	68.8	16.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

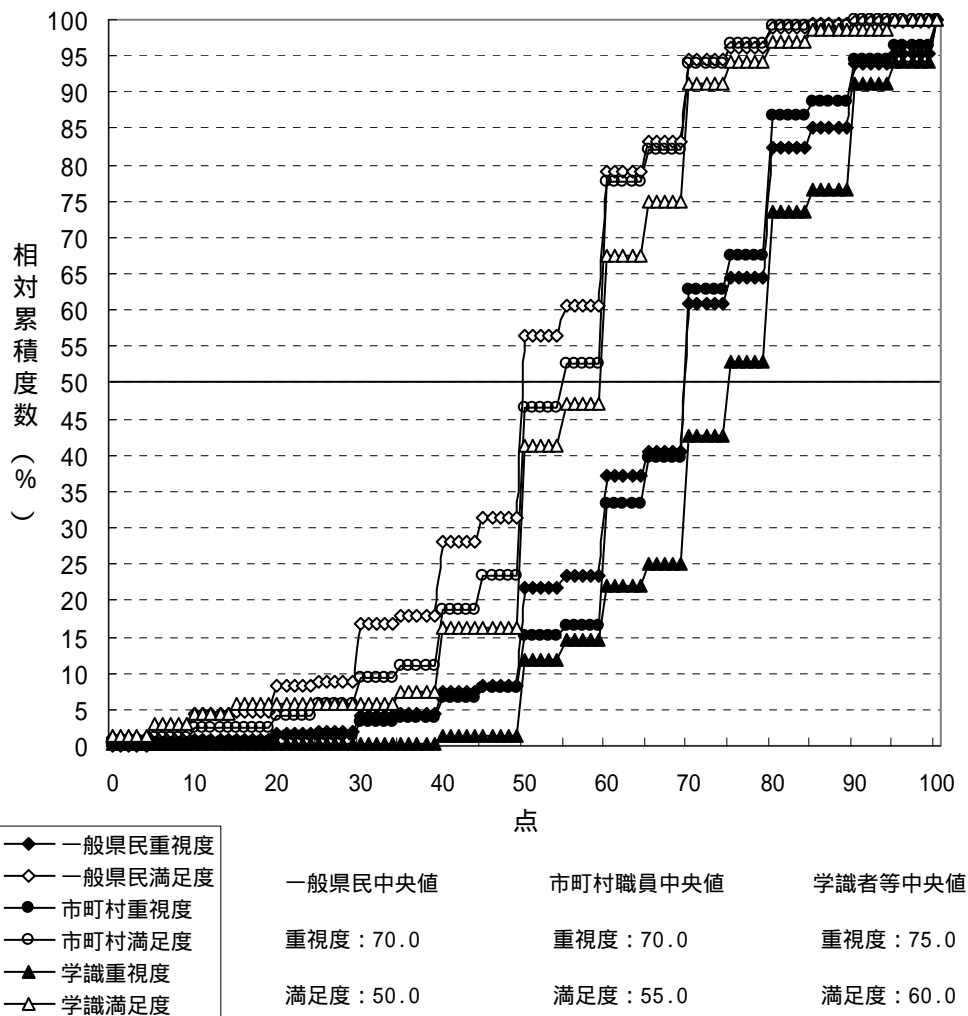
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.7	(85.3)
満足度 60点未満の割合		47.1
要検討領域にある回答者全体の割合		32.4

有効回答者数；重視度 68人、満足度 68人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	68	68
	欠損値	1	1
平均値		74.63	55.88
平均値の標準誤差		1.760	2.050
中央値		75.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.515	16.905
分散		210.684	285.777
範囲		60	95
最小値		40	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	66.25	50.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	68.75

「政策12 産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 38.9%、女性 35.4%と推定できる。

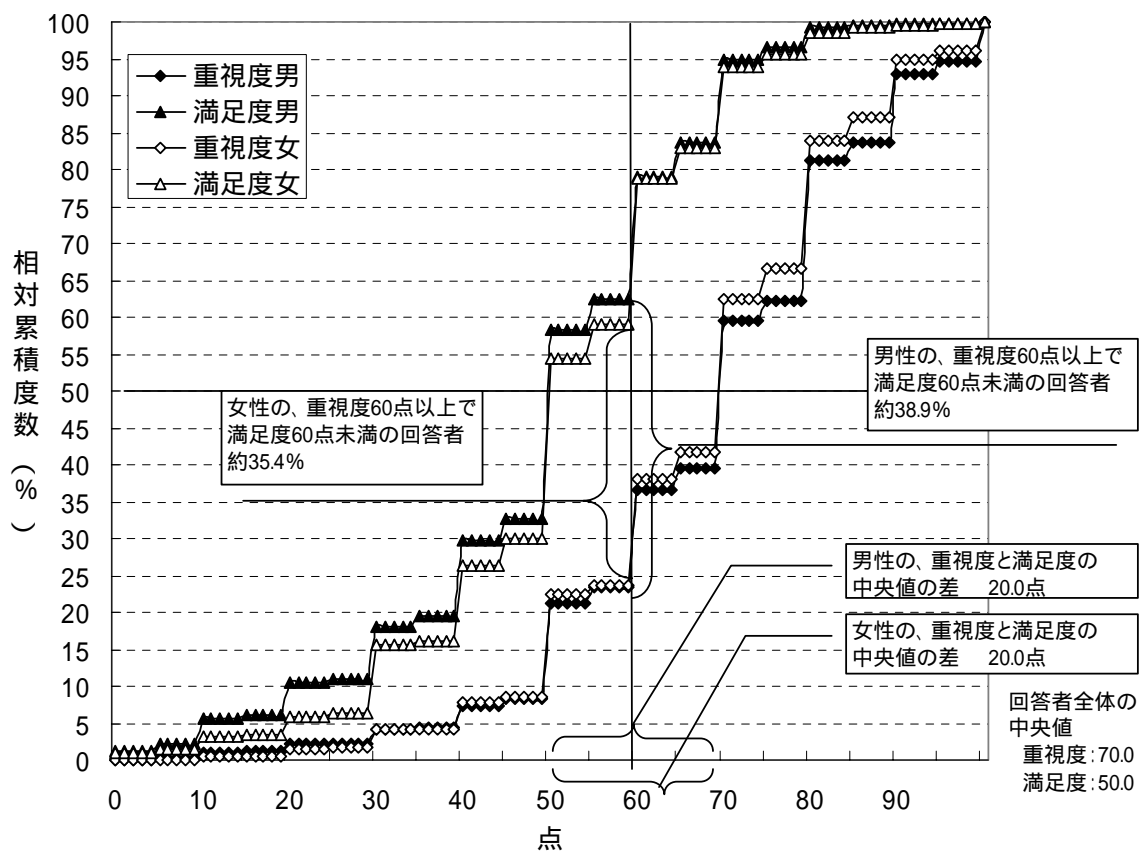
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.5 (76.5)	23.7 (76.3)
満足度 60 点未満の割合	62.4	59.1
要検討領域にある回答者全体の割合	38.9	35.4

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	769	763
	欠損値	34	40
平均値		68.67	49.53
平均値の標準誤差		.652	.643
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.082	17.774
分散		326.949	315.919
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	824	814
	欠損値	72	82
平均値		67.71	51.44
平均値の標準誤差		.596	.576
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.113	16.445
分散		292.847	270.454
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 36.9%、65 歳以上 37.5%と推定できる。

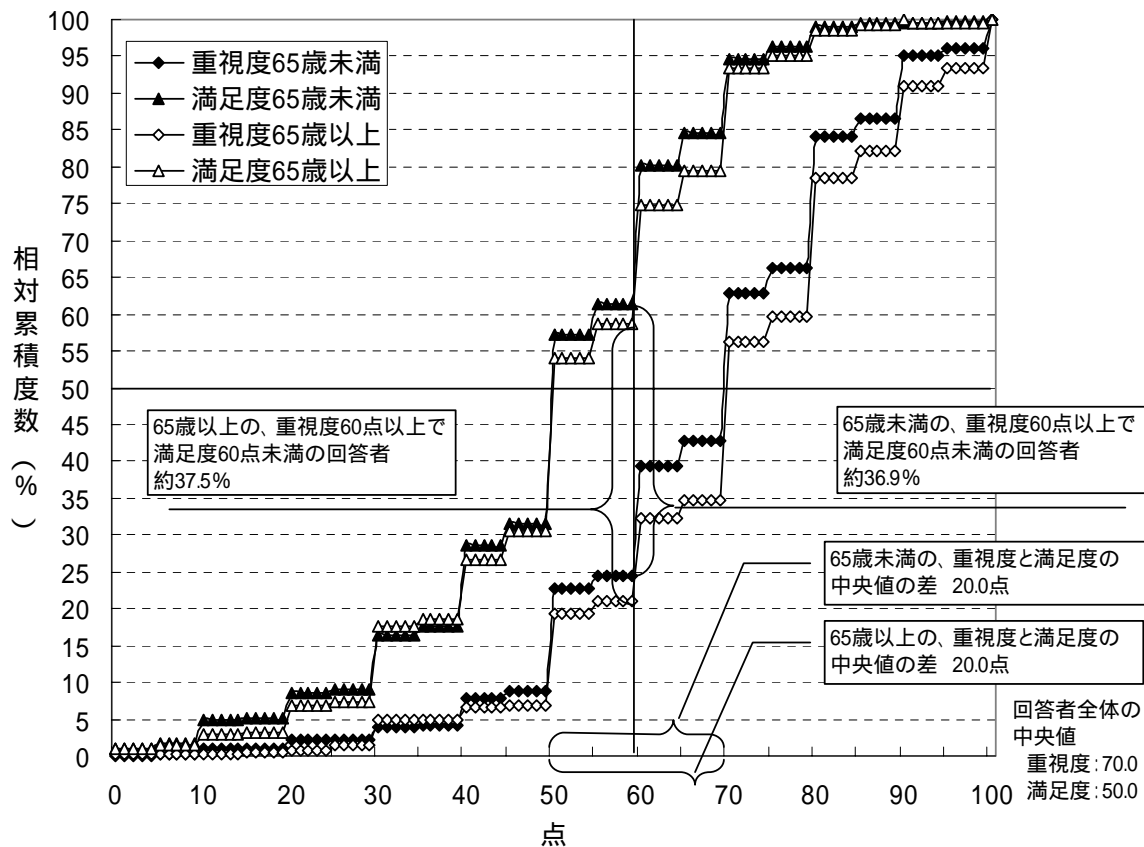
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	24.5 (75.5)	21.1 (78.9)
満足度 60 点未満の割合	61.4	58.6
要検討領域にある回答者全体の割合	36.9	37.5

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	1184	1176
	欠損値	56	64
平均値		67.42	50.17
平均値の標準誤差		.508	.499
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.466	17.123
分散		305.066	293.185
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策12重視度	政策12満足度
度数	有効	407	399
	欠損値	50	58
平均値		70.26	51.53
平均値の標準誤差		.880	.858
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.756	17.139
分散		315.266	293.762
範囲		95	90
最小値		5	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(70.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域(15.0点)、石巻圏域(15.0点)、仙南圏域(12.5点)の3圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、石巻圏域(7.5点)が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、登米圏域(75.0点)が5ポイント高く、石巻圏域(65.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の3圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)、仙南圏域(5.0点)、登米圏域(5.0点)の4圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(10.6点)、大崎圏域(10.0点)、登米圏域(8.8点)、仙南圏域(8.1点)、栗原圏域(7.5点)の5圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	50.0	50.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	10.0	5.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	15.0	15.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	75.0	65.0	72.5
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	57.5	57.5
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	20.0	15.0	7.5	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	70.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	43.8	50.0	50.0	51.3	43.8	50.0
	かい離	10.0	10.0	16.3	15.0	15.0	18.8	16.3	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	70.0	80.0	90.0	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	70.0	65.0	68.8	65.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	10.0	10.0	25.0	11.3	10.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	5.0	7.5	12.5	5.0	7.5	10.0
	満足度	5.0	5.0	8.1	10.0	7.5	8.8	10.6	5.0

4. 政策 12 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「農業分野の研究開発」(39.0%) である。

第 2 位は施策 1 「創造的研究開発の推進」(32.5%) である。

第 3 位は施策 5 「工業分野の研究開発」(11.5%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「創造的研究開発の推進」(40.9%) である。

第 2 位は施策 2 「農業分野の研究開発」(36.4%) である。

第 3 位は施策 4 「水産業分野の研究開発」(9.7%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「創造的研究開発の推進」(51.5%) である。

第 2 位は施策 2 「農業分野の研究開発」(13.2%) である。

第 3 位は施策 5 「工業分野の研究開発」(11.8%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 5 「工業分野の研究開発」、65 歳以上では施策 4 「水産業分野の研究開発」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙南、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 1 「創造的研究開発の推進」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「水産業分野の研究開発」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「創造的研究開発

の推進」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米の 5 圏域では施策 5 「工業分野の研究開発」、石巻圏域では施策 4 「水産業分野の研究開発」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」である。

市町村職員では、

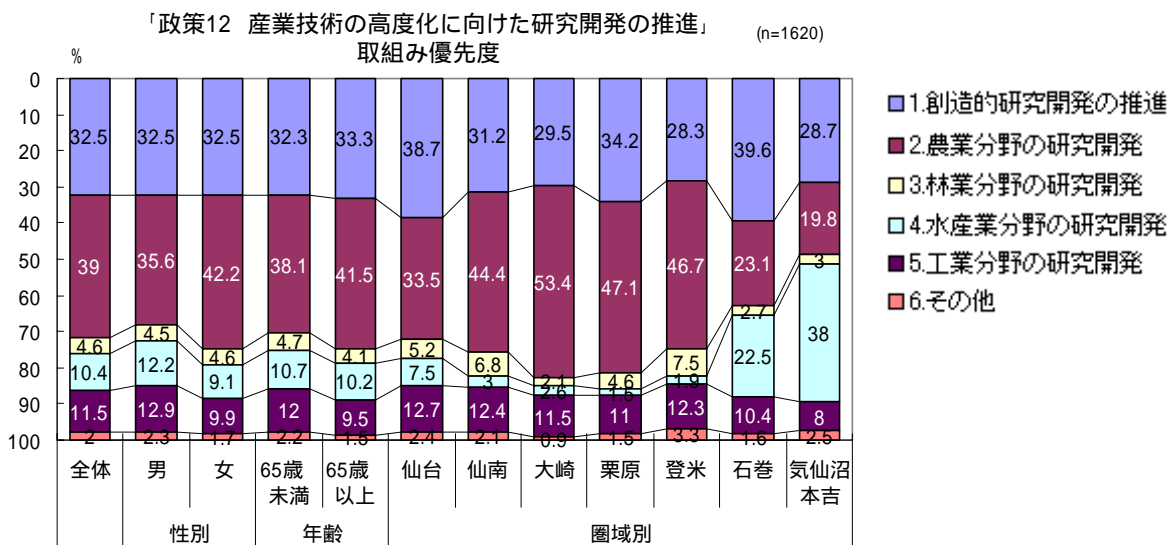
第 1 位は、仙台、仙南、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 1 「創造的研究開発の推進」、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」、石巻圏域では施策 4 「水産業分野の研究開発」である。

第 2 位は、仙台、仙南、石巻の 3 圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 1 「創造的研究開発の推進」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「水産業分野の研究開発」である。

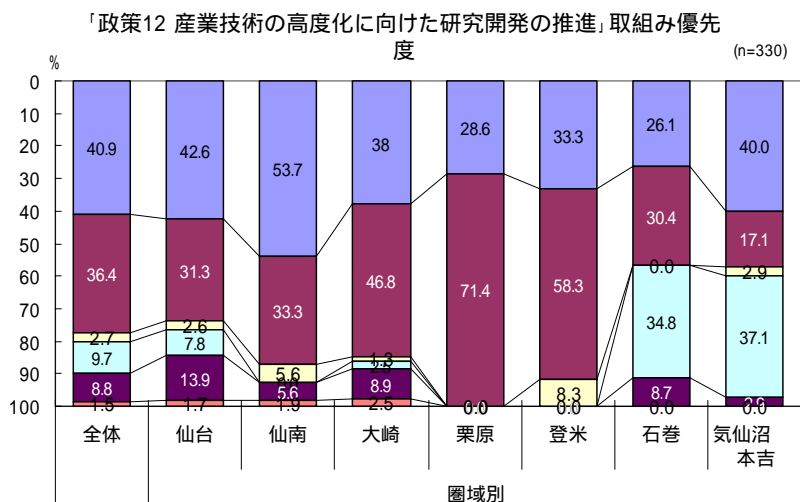
第 3 位は、仙台、仙南、大崎の 3 圏域では施策 5 「工業分野の研究開発」、仙南、栗原、登米の 3 圏域では施策 3 「林業分野の研究開発」、石巻圏域では施策 1 「創造的研究開発の推進」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「農業分野の研究開発」である（仙南圏域では施策 3 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

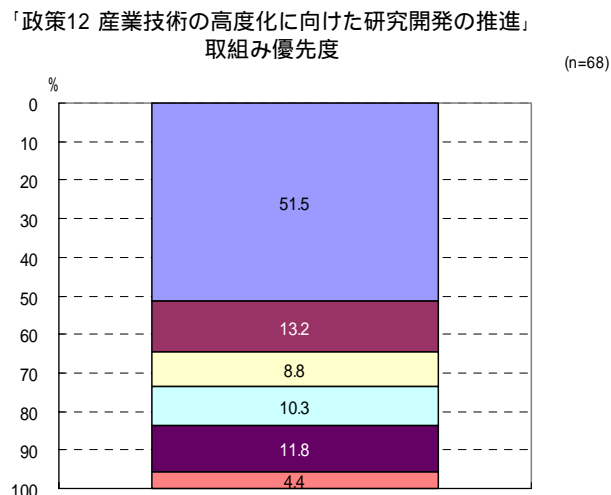
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.創造的研究開発の推進	32.5	32.5	32.5	32.3	33.3	38.7	31.2	29.5	34.2	28.3	39.6	28.7
2	2.農業分野の研究開発	39.0	35.6	42.2	38.1	41.5	33.5	44.4	53.4	47.1	46.7	23.1	19.8
3	3.林業分野の研究開発	4.6	4.5	4.6	4.7	4.1	5.2	6.8	2.1	4.6	7.5	2.7	3.0
4	4.水産業分野の研究開発	10.4	12.2	9.1	10.7	10.2	7.5	3.0	2.6	1.5	1.9	22.5	38.0
5	5.工業分野の研究開発	11.5	12.9	9.9	12.0	9.5	12.7	12.4	11.5	11.0	12.3	10.4	8.0
6	6.その他	2.0	2.3	1.7	2.2	1.5	2.4	2.1	0.9	1.5	3.3	1.6	2.5

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.創造的研究開発の推進	40.9	42.6	53.7	38.0	28.6	33.3	26.1	40.0
2	2.農業分野の研究開発	36.4	31.3	33.3	46.8	71.4	58.3	30.4	17.1
3	3.林業分野の研究開発	2.7	2.6	5.6	1.3	0.0	8.3	0.0	2.9
4	4.水産業分野の研究開発	9.7	7.8	0.0	2.5	0.0	0.0	34.8	37.1
5	5.工業分野の研究開発	8.8	13.9	5.6	8.9	0.0	0.0	8.7	2.9
6	6.その他	1.5	1.7	1.9	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.創造的研究開発の推進	51.5
2	2.農業分野の研究開発	13.2
3	3.林業分野の研究開発	8.8
4	4.水産業分野の研究開発	10.3
5	5.工業分野の研究開発	11.8
6	6.その他	4.4

政策 12 「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進」